

東京都立府中東高等学校

〒183-0012 東京都府中市押立町4-21 ☎042-365-7611

活動団体 生物部 活動人数 20人 主な活動時間 部活動として

府中市多摩川における外来植物の分布について ～アレチハナガサの拡大～

きっかけ

東京都と神奈川県都県境である多摩川。さまざまな植物群類がみられるものの、外来植物が侵入しやすい立地でもあり、それに伴って、近年は在来植物の減少が問題視されている。多摩川のそばの校舎で学ぶ府中東高校の生物部は、多摩川の自然保護を目的に、河川敷の外来植物の分布と、なかでも植生に影響を与えている外来植物について調査を開始した。



多摩川は、学習活動の場として、授業でも訪れる機会が多い。

活動内容

調査範囲は、府中市内の多摩川河川敷の河川付近から堤防にかけての7地点。各地点で、河川と並行にラインを引き、ライン上に1m四方の調査区画を等間隔で5カ所設置した。調査項目は、区画を植物が覆っている割合、区画内で最も草丈が高い植物の高さ、植物別の区画を植物が覆っている割合の3つだ。



アレチハナガサの植生の様子。

成果

調査の結果、確認できた植物は在来種が18種なのに対し、外来種は29種。区画内で外来種が占めている割合は64.3%にも上り、なかには緊急・重要対策外来種に指定されている植物もあった。

外来種で多かったのは、セイタカアワダチソウ、アレチハナガサ、オオブタクサ、アレチウリの4種類。いずれも、洪水などで川が氾濫した際に水が流れる高水敷を中心に分布していた。なかでも、最も広範囲で分布していたのはアレチハナガサだ。種子を介しての繁殖ではなく、葉や茎などから芽を出すことができる栄養生殖の性質を持っており、増水などの被害を受けにくい。国土交通省が定める「対策を優先すべき外来種」には指定されていないものの、放置すれば、在来種の絶滅につながる可能性がある。

今回の調査では、在来種は特にチガヤ、ヒメガマ、シバなどが広い範囲で分布していた。外来種による被害を抑えるために、植物そのものの研究にも力を入れていく。

活動エピソード

今回の調査では合計49種の植物が出現しましたが、それらの同定がとても難しかったです。分からない植物はサンプルを持ち帰り植物図鑑を使って同定を進めましたが、それでも分からないものは、地域の自然情報館の協力を得て同定を行いました。

今後の展望

アレチハナガサは、近年広まった比較的新しい外来種で、他の種類と比べて研究が進んでいない。今後はアレチハナガサを中心に調査を進め、生物多様性の保全に取り組む。